



2024年3月25日

各位

会社名 株式会社アップルパーク
(コード番号 164A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 山中 直樹
問合せ先 取締役管理本部長 上野 篤資
TEL 03(3901)6199
URL <https://www.applepark.jp/>

東京証券取引所 TOKYO PRO Market への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日2024年3月25日に東京証券取引所 TOKYO PRO Market に上場いたしました。今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2024年3月期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)における当社の業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

(単位:百万円、%)

項目	決算期	2024年3月期(予想)		2023年3月期(実績)		
		構成比	対前期増減率		構成比	
売上高		5,084	100.0	10.5	4,601	100.0
営業利益		579	11.4	29.3	448	9.7
経常利益		587	11.6	29.0	455	9.9
当期純利益		354	7.0	26.8	279	6.1
1株当たり当期純利益		293.71円		348.24円		
1株当たり配当金		37.48円		62.34円		

(注) 当社は、2023年11月2日付で普通株式1株につき2,000株の株式分割を行っており、発行済株式総数は1,334,000株となっております。上記では、2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益、1株当たり配当金を算出しております。

【2024年3月期業績予想の前提条件】

1. 当社全体の見通し

昨今における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進みました。一方で、ウクライナ・ロシア情勢など国際情勢の緊迫化に加え、原材料・エネルギー価格の高騰など先行きは不透明な状況が続いております。

駐車場業界においては、社会経済活動の正常化に伴い観光需要なども日を追うごとに戻ってきており、売上高は全国的に改善が見られました。

なお、以下に記載する業績予想につきましては、2023年4月から2024年2月までの実績値及び2024年3月の予想値を使用して算出しております。

2. 業績予想の前提条件

(1) 売上高

当社の売上高は、駐車場・駐輪場事業の単一セグメントであり、セグメント別の記載は省略しております。売上高は、過去の実績および市場予測を勘案して見積もっております。

これらの結果、売上高は5,084百万円（前期比10.5%増）を見込んでおります。

(2) 売上原価、売上総利益

売上原価は、過去の実績値に基づいて見積もっております。また、売上高の変動要因を考慮しております。

これらの結果、売上原価は3,315百万円（前期比8.3%増）、売上総利益は1,768百万円（前期比14.8%増）を見込んでおります。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、過去の実績値に基づき、上場関連費用も考慮をした上で見積もっております。

これらの結果、販売費及び一般管理費は1,189百万円（前期比8.9%増）、営業利益は579百万円（前期比29.3%増）を見込んでおります。

(4) 営業外損益、経常利益

営業外損益は、過去の実績に基づき見積もっております。

これらの結果、経常利益は587百万円（前期比29.0%増）を見込んでおります。

(5) 特別損益、親会社に帰属する当期純利益

特別損益は今季想定される特別損益を考慮して見積もっております。

当期純利益は、法人税等を考慮して354百万円（前期比26.8%増）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合等の様々な要因によって異なる場合があります。

以 上

2024年3月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年3月25日

上場会社名 株式会社アップルパーク

上場取引所 東

コード番号 164A

URL https://www.applepark.jp/

代表者（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 山中 直樹

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長 （氏名） 上野 篤資

中間発行者情報提出予定日 -

配当支払開始予定日 -

中間決算補足説明資料作成の有無： 無

中間決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期中間期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は対前期同中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期中間期	2,504	-	315	-	318	-	200	-
2023年3月期中間期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期中間期	185.75	-
2023年3月期中間期	-	-

（注）1. 当社は、2023年3月期中間期においては中間財務諸表を作成していないため、2023年3月期中間期の数値及び2024年3月期中間期の対前中間期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、2024年3月期中間期においては潜在株式がないため、2024年3月期中間期の「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」は記載しておりません。

3. 当社は、2023年11月2日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期中間期	3,896	747	19.2
2023年3月期	3,340	546	16.4

（参考）自己資本 2024年3月期中間期 747 百万円 2023年3月期 546 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	62.34	0.00	62.34
2024年3月期	0.00	-	-
2024年3月期（予想）	-	37.48	37.48

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 当社は、2023年11月2日付で普通株式1株につき2,000株の株式分割を行っており、発行済株式総数は1,334,000株となっております。上記では、2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり配当金を算出しております。

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,084	10.5	579	29.3	587	29.0	354	26.8	293.71

注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間会計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 中間財務諸表及び主な注記(4) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期中間期	1,334,000株	2023年3月期	802,000株
-------------	------------	----------	----------

② 期末自己株式数

2024年3月期中間期	-株	2023年3月期	-株
-------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数(中間期)

2024年3月期中間期	1,078,175株	2023年3月期中間期	-株
-------------	------------	-------------	----

(注) 1. 2023年3月期中間期においては、中間財務諸表を作成していないため、2023年3月期中間期の期中平均株式については記載していません。

2. 2023年11月2日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数(中間期)」を算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調にありましたが、ウクライナ・ロシア情勢など国際情勢の緊迫化に加え、原材料・エネルギー価格の高騰などのリスクがあり、先行きは不透明な状況が続いております。

駐車場業界においては、経済活動の正常化に伴い観光需要なども目を追うことに戻ってきており、売上高は全国的に改善が見られました。

このような状況のもと、当社は、広告費や研修費など販管費の見直しに伴うコストの圧縮に加えて、既存の駐車場・駐輪場の収益改善施策の実施、不採算現場における賃料減額交渉や解約を行なうことで採算性の向上に努めました。また、新規の駐車場・駐輪場の開設を進めることで運営駐車場数、運営駐輪場数を増加させました。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は2,504,736千円、営業利益は315,480千円、経常利益は318,797千円、中間純利益は200,268千円となりました。

当社は、当中間会計期間より中間財務諸表を作成しているため、前年同期との比較は行っておりません。

なお、当社は時間貸し駐車場・駐輪場の開拓と運営管理に関連する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間の財政状態につきましては、次のとおりです。

(資産の部)

総資産は3,896,452千円（前期末比556,087千円増）となりました。流動資産につきましては、2,718,533千円（同583,110千円増）となりました。これは主に、現金及び預金の増加601,513千円等によるものです。固定資産につきましては、1,177,919千円（同27,022千円減）となりました。これは主に、リース資産の減少28,643千円等によるものです。

(負債の部)

総負債は3,149,371千円（同355,244千円増）となりました。流動負債につきましては、1,276,911千円（同3,243千円減）となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の増加131,791千円があるものの、未払法人税等の減少80,283千円等によるものです。固定負債につきましては、1,872,460千円（前期末比358,487千円増）となりました。これは主に、長期借入金の増加367,091千円等によるものです。

(純資産の部)

純資産につきましては747,080千円（同200,842千円増）となりました。これは、主に中間純利益200,268千円の計上等によるものです。

②キャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は2,079,214千円（前期末比561,013千円増）となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は321,043千円となりました。これは主に税引前中間純利益の計上299,359千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は194,304千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出132,837千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は434,274千円となりました。これは主に長期借入れによる収入800,000千円等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、一部の経費及び特別損益の見直しにより2024年3月19日の取締役会にて修正をいたしました。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当中間会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,711,204	2,312,718
売掛金	75,277	80,930
貯蔵品	18,727	17,365
前払費用	235,593	211,843
その他	97,581	96,022
貸倒引当金	△2,962	△346
流動資産合計	2,135,423	2,718,533
固定資産		
有形固定資産		
構築物	357,140	359,134
リース資産	280,429	251,786
その他	215,483	218,804
有形固定資産合計	853,053	829,725
無形固定資産	11,747	7,107
投資その他の資産		
その他	340,768	344,681
貸倒引当金	△628	△3,596
投資その他の資産合計	340,140	341,085
固定資産合計	1,204,941	1,177,919
資産合計	3,340,365	3,896,452

株式会社アップルパーク（164A）2024年3月期 中間決算短信

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年3月31日)	当中間会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,134	107,425
1年内返済予定の長期借入金	561,331	693,122
リース債務	125,143	105,057
未払法人税等	179,368	99,085
賞与引当金	83,972	59,500
その他	269,204	212,720
流動負債合計	1,280,154	1,276,911
固定負債		
長期借入金	1,132,307	1,499,398
リース債務	162,800	153,326
資産除去債務	196,854	196,690
その他	22,011	23,046
固定負債合計	1,513,972	1,872,460
負債合計	2,794,127	3,149,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金		
利益準備金	9,501	9,501
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	439,041	639,309
利益剰余金合計	448,542	648,810
株主資本合計	548,542	748,810
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,304	△1,729
評価・換算差額等合計	△2,304	△1,729
純資産合計	546,237	747,080
負債純資産合計	3,340,365	3,896,452

（2）中間損益計算書

（単位：千円）

	当中間会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
売上高	2,504,736
売上原価	1,609,222
売上総利益	895,514
販売費及び一般管理費	580,034
営業利益	315,480
営業外収益	
受取保険金	8,511
受取保証料	5,549
その他	2,793
営業外収益合計	16,855
営業外費用	
支払利息	10,762
その他	2,775
営業外費用合計	13,537
経常利益	318,797
特別損失	
減損損失	19,438
特別損失合計	19,438
税引前中間純利益	299,359
法人税、住民税及び事業税	99,090
法人税等合計	99,090
中間純利益	200,268

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	299,359
減価償却費	127,100
固定資産除却損	47,036
減損損失	19,438
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,472
受取利息及び受取配当金	△34
支払利息	10,762
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	352
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,652
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,391
前払費用の増減額 (△は増加)	24,673
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△25,397
仕入債務の増減額 (△は減少)	46,291
契約負債の増減額 (△は減少)	△11,431
未払金の増減額 (△は減少)	21,711
未払費用の増減額 (△は減少)	△11,995
預り金の増減額 (△は減少)	△17,410
その他	12,266
小計	511,206
利息及び配当金の受取額	34
利息の支払額	△10,822
法人税等の支払額	△179,373
営業活動によるキャッシュ・フロー	321,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入れによる支出	△103,500
定期預金の払戻による収入	60,000
有形固定資産の取得による支出	△132,837
保険積立金の積立による支出	△1,627
敷金及び保証金の差入による支出	△1,137
敷金及び保証金の回収による収入	5,131
資産除去債務の履行による支出	△20,539
その他	207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	800,000
長期借入金の返済による支出	△301,118
リース債務の返済による支出	△64,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	434,274
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	561,013
現金及び現金同等物の期首残高	1,518,201
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,079,214

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

当社は時間貸し駐車場・駐輪場の開拓と運営管理に関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

1. 株式分割及び単元株制度の採用

当社は、2023年10月3日開催の臨時株主総会決議に基づき、同日付で定款の一部を変更し、発行可能株式総数を2,668株に変更しております。また2023年10月13日開催の取締役会決議に基づき、2023年11月2日付で株式分割を行うとともに、定款の一部を変更し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。

(1) 株式分割及び単元株制度の採用の目的

株式分割により投資単位当たりの金額を引き下げ、当社株式の市場流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2023年11月1日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有株式数を、普通株式1株につき2,000株の割合をもって分割いたしました。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	667株
株式分割により増加する株式数	1,333,333株
株式分割後の発行済株式総数	1,334,000株
株式分割後の発行可能株式総数	5,336,000株

③ 分割の日程

基準日	2023年11月1日
効力発生日	2023年11月2日

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当中間会計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
1株当たり純資産	560.03
1株当たり当期純利益	185.75
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	-

(3) 単元株制度

単元株制度を採用し、普通株式の単元株式数を100株といたします。